

事業報告書

平成 30 年度

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人 わかば

そらのいえ保育園

平成 30 年度そののいえ保育園事業報告書

1. 保育事業報告

保育利用者状況について、幼児クラスでは若干名の欠員が生じたが、1,2 歳児では、常に定員を満たした在園児数を確保した。また、在園児のほとんどが標準時間利用児であり、数年前では、20 人程 16 時に降園する児童がいたが、現在では、ほとんど長時間保育となっている。今後も長時間保育を念頭においた環境整備や、育児家庭支援の更なる充実が重要と考える。

会計について、職員の処遇改善を目途に、給与本俸のベースアップを実施した。人件費が増大し、運営費の法外援護費が減少した結果として、中長期計画の積立金目標額を達成出来なかった。しかし、保育士の処遇改善は、保育の質向上や、定着率の向上など、長期的視点から有効な事業と考える。2020 年度より運営を開始する新園を包括的に適正な人材配置を行い、効率化を図る事で適正な積立を可能とする計画を構築している。

地域支援活動を継続実施した。東京都サービス推進費の再構築による大幅な地域支援活動助成金削減による減収の状況や、大田区の地域活動費が保育事業と切り離れた経費のみが対象であることから、活動費の確保が困難な状況である。しかし、育児家庭支援の高いニーズと、社会的意義の重要性を鑑み、活動を継続するよう検討する。また、地域支援活動利用者が本園の保育理念を理解した上で入園するなど、地域に園の方針や特徴を伝える効果も高いと考えている。

小中学生の職場体験や、保護者の保育体験を実施し、保護者と連携し、地域に開かれた保育活動を実践した。また、職場体験では、職業観の育成やコミュニケーション能力の向上を図る良い機会となった。職員にとっても保育活動の見直しや、職場の活性化にもつなげることが出来た。

大田区の公設民営プロポーザルにおいて、「南馬込保育園」の事業者に選定された。2020 年 4 月からの運営に向けて事業活動を展開する。

2. 保育内容

外部講師による体育・絵画・造形・音楽の指導を受けながら、モンテッソーリ教育を取り入れた保育活動を継続的に実施した。保育目標である、日々の保育のなかで子どもの気持ちに常に寄り添う事を心掛けながら保育にあたるよう努めた。年間計画に位置付けられる「全体の計画」や各指導計画を職員研修により周知、理解するよう努めた。見通しを持った計画的保育と、子ども達の育ちに合ったフレキシブルな保育を両立し、包括的かつ豊かな保育の実現を目指した。

運動会をスポーツフェスタを名称変更し、子ども達と十分に身体を動かし楽しむ行事として、プログラムから見直すことで、園児にとってより良い経験の場となるよう工夫した。また、地域支援活動も兼ねた園行事や、通所型デイサービス施設と共同生活介護施設との交流を継続的に行った。

幼児クラスを 2 クラス、乳児クラスを 1 クラスの縦割クラス構成を継続した。年長児は年少児を労り、年少児は年長児に憧れ、より良い育ちを促す事ができた。

3. 保育活動

(1) 保育園の運営

- ・所在地：東京都大田区大森中一丁目 14 番 1 号
- ・児童定員：84 名
 - 1 歳児…10 名 2 歳児…14 名 3 歳児…20 名
 - 4 歳児…20 名 5 歳児…20 名

(2) 開所時間

11 時間開所保育時間：午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分
延長保育時間： 午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分（月～金）

(3) 閉所日

日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

(3) 職員配置（平成 31 年 3 月 1 日現在）

常勤職員： 17 名 園長（1） 副園長（1） SV（1） 保育士（12） 事務（1）
非常勤職員：10 名 保育士（5） 保育補助（4） 看護師（1）
嘱託職員： 2 名 嘱託医（1） 嘱託歯科医（1）

(4) 延長保育実利用児童数実績

4 月：57 人 5 月：68 人 6 月：74 人 7 月：71 人 8 月：78 人
9 月：82 人 10 月：75 人 11 月：63 人 12 月：66 人 1 月：58 人
2 月：56 人 3 月：48 人 合計：796 人

4. 保護者支援

(1) 保育体験・保護者会

1 日保育士として保育体験する活動を継続実施し、集団保育における子どもの様子を知り、園の保育内容の共通認識を図るよう努めた。また、保護者会を通して、園方針への理解を深めた。

(2) 外部機関との連携

大田区子ども家庭支援センターや品川児童相談所との連携により、育児困難家庭支援の実施と、わかばの家等との連携により、配慮の要する児童の発達支援を実施した。

要支援児の個別計画の実施や、療育支援員を配置し、より良い支援体制整備に努めた。

(3) 地域支援活動

地域の乳児親子と出産を控えた方を対象とした子育て支援講座、出前保育、異年齢児交流事業、世代間交流事業、職場体験、保育所体験など、地域交流事業に積極的に取り組んだ。子ども達の育ちと、地域の子育て力向上に貢献し、成果を得た。

5. 保健衛生

- ・園児定期健康診断 2 回
- ・園児定期歯科健診 1 回
- ・職員健康診断 1 回
（常勤職員・週労働時間30時間以上の非常勤職員）
- ・職員インフルエンザ予防接種 1回
（常勤職員・週労働時間20時間以上の非常勤職員）
- ・調理員腸内細菌検査 12 回

- ・園児身体測定 12回

6. 防災安全

- ・避難訓練 12回
- ・消火訓練 12回
- ・引き取り訓練 1回
- ・通報訓練 5回
- ・移動訓練 1回
- ・交通安全教室 1回
- ・消防署消火訓練 1回
- ・防災設備等の保守点検
- ・消防署への協力、報告
- ・自主点検
- ・法定点検
- ・非常用飲料水、食糧の確保、点検、喫食
- ・防災士による防災対策職員研修
- ・職員による定期的（月2回程度）な災害用伝言ダイヤルの活用訓練
- ・幼児クラス避難用ヘルメットの導入

7. 給食

- ・1～2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつ
- ・3～5歳児 昼食、午後おやつ
- ・延長児 補食
- ・アレルギー児（宗教等家庭的事由含）への除去食対応、代替食対応
- ・食育活動（カレー、クッキー、さんま、植物栽培、食べ方など）

8. 年間行事

- ・計画に基づき、行事を実施した。行事担当者を決め、前年度の振り返りと、保護者アンケートを参考により良い行事運営に努めた。
- 別紙「年間行事」参照

9. 年間実施会議

- ・職員会議 月1回 園長・SV・副園長・保育士全員・事務
- ・調整会議 週1回 SV・副園長・主任保育士・チーフ保育士
- ・クラス会議 週1回 SV・主任保育士・担当保育士
- ・担当者会議 SV・主任保育士・担当保育士
- ・食育会議 月1回 園長・SV・主任保育士・担当保育士・調理員
- ・保護者会 年2回 園長・SV・副園長・職員・保護者
- ・個人面談 年1回 園長・SV・副園長・職員・保護者
- ・保育体験 1人/日限定 保護者希望参観
- ・法人理事会 理事長が召集・理事、監事
- ・大田区私立保育園園長会 年11回 園長

10. 職員育成

キャリアアップ研修の計画的受講や、モンテッソーリ教育の専門的知識習

得のため多くの職員が自主的取り組みや、研修を通して保育士としてのスキルアップに努めた。特に、日本モンテッソーリ協会（学会）における研修発表は、日々の保育の振り返りと、外部発信機会として大変有効な学びとなった。その他、園外研修、園内研修や、講演会への参加を通して、全職員に学びの機会が提供できたと考える。自主的研修費用の一部助成制度により、職員が自ら意欲を持って学ぶ環境を提供した。

11. 施設整備計画

- ・災害時食料、飲料の確保
- ・植栽整備
- ・園舎の定期清掃
- ・事務所、倉庫、更衣室等賃貸

12. 資金収支

「平成 30 年度決算書」参照